

研究所だより

第474号
2024年 7月17日
発行：土佐清水市教育研究所
TEL 82-3015

“ 夏がくれば 思い出す はるかな尾瀬 遠い空
霧のなかに うかびくる やさしい影 野の小径
水芭蕉の花が 咲いている 夢見て咲いている水のほとり
石楠花色に たそがれる はるかな尾瀬 遠い空 ”
『夏の思い出』 1949年(昭和24年) 日本の歌曲



～いよいよ夏本番！～

7月22日(月)は「大暑」。(22日から立秋までの期間を大暑と呼ぶ場合もあります。)大暑という文字を見ているだけで汗が噴き出してきそうな名前ですね。最も暑さが厳しい頃と言われてますが、暑さの本番はこれからで8月上旬～中旬にかけてピークを迎えます。

ところで、大暑の日は天ぷらの日として、土用の丑の日、8月29日の焼き肉の日と並んで「夏バテ防止三大食べ物記念日」とされています。どうして天ぷらなのかと言うと「暑さに負けないように栄養豊富な天ぷらを食べて、夏を乗り切ろう」という意味があるそうです。また、大暑をはじめとした夏の暑さに打ち勝つためには「う」のつく食べ物を摂るとよいとも言われています。

- ①ウナギ；夏バテ防止に効果があるビタミンA、B1を豊富に含む
- ②梅干し；疲労回復に役立つクエン酸が効果を発揮
- ③うどん；夏バテ予防・食欲増進



熱中症に気を付けて過ごしましょう。



特集2 教師の魅力・再発見 教師と子どもが望む「理想の教師像」

「指導と評価」7月号より

元公立小学校教諭
上級教育カウンセラー

柳瀬 啓史

「知らないうちに賢くなっている」。教員として初年度を終えるときに聞いたクラスの児童のこのひとことが、以降の教員人生の支えとなり、戒めとしても働き、私にとって座右の銘のような存在でありつけました。

それから30年余り経過した本年3月、ある団体から出前授業の申し出があり、その窓口として現れたのは、なんと初任時の学級の教え子でした。「あのクラスは、担任が初任者だったので、正直なところ初めは不安でした。でも、学生生活で最高の1年間となりました」。そう評してくれた彼は、級友たちといまでも会う機会があると言います。そこで「理想の先生像」「親として希望するわが子の担任」についてみんなの本音を聞いてほしいとお願いしました。その結果をもとに、理想の教師像と教師の魅力について考察します。

1 教え子の声をもとにした理想の教師像

子どもたちにとって、担任の存在は大きいようです。学級の文化や雰囲気形成するのは児童そのものですが、先導する役割が担任にはあるようです。元教え子たちの声からまとめた「絶対に譲れない3条件」は、(1)ひいきをしない、(2)勉強がわかる、(3)学級に活気がある、でした。私の経験を踏まえて、この3条件をみていきます。

(1) ひいきをしない — みんな平等

私は学級開きの初日に、子どもたちに必ず宣言してきました。「一人一人特徴ももち味も違うから接し方は異なるけれど、ひいきはしないよ」と。あわせて、「(みんなを)本気で叱ってくれる」点を、教え子たちが評価していたことに驚きました。現代の子どもは「繊細で打たれ弱い」と言われますが、分け隔てなく、正しく、本音で接してくれる大人を求めているのかもしれない。逆に、「スクールカースト」や「ヒドゥンカリキュラム」が、いかに教師の影響を含んでいるかを、私たちは再考する必要があるように思います。



(2) 勉強がわかる — できるようになる

「勉強がわかる」に付け加えて「楽しく」も、大切な要因のようです。私は大学生時代に学童保育のアルバイトをしていたため、遊び感覚のなかで学習を進めることが習慣化していました。のちに先輩教員から、「君がしているのは構成的グループエンカウンター(以後SGE)だよ」と教えられました。また児童の興味関心から教材を作成し、児童が発した「つぶやき」をもとに授業を構成できるよう工夫していました。これは後に、國分康孝先生や水上和夫先生の提唱する「対話のある授業」へとつながっていきます。

(3) 学級に活気がある — 本気で行動

「主役はいつも違う人」。これが念頭にあった私は、一見、目立たない児童が起こす活躍の場面やハプニングを心待ちにしていました。その機会があれば、似顔絵付きの学級通信で、子どもたちや保護者に伝えていました。

4月当初はリレーションの薄い学級全体も、登校や友人関係に不安を感じている子どもも、互いが個性を見せ合い、認め合い、笑い合い、励まし合う過程で、しだいに広がり深まりをみせてきます。学習・生活面で役割をもち、討議・討論で語り合うことによって結びつきを強め、「自分たちのクラス」意識が自治的な方向へ向かいはじめます。学級に問題が発生したとき、「自分たちの問題だから、先生は入らないで」と言われ、その本気度を信用して、すべて子どもたちに任せた経験もあります。

2 個が伸びる、集団がまとまる

担任が子どもたちと向き合うとき、着目する点は2つあると思います。1つは、個々の資質や能力をどの機会にどうやって伸ばせるかという点。2つめは、学級集団の質をどう深め育成していくか、という点です。古くからのテーマですが、双方の伸張は相互作用と考えます。集団性を育む場所が学校以外に見つけにくい現状からもこの視点は重要です。

個と集団を共に育む手法としてのSGE、検証のためのQ-Uと手だてはいくつも用意されています。子どもたち一人一人が自分の色を発揮しつつ、集団としてのまとまりを深めていく1年間の過程そのものに、学校生活の充実感があります。個も集団も、様々な作用を受けながら自立する存在なのです。

私は、こうした経験から「振り返りと見直し」の大切さに気づかされ、キャリアパスポート(文部科学省)の導入前から「マイチェックシート」という実践を試みました。学期ごとに「これだけは絶対に伸ばす!」「これだけは絶対に直す!」という目標を掲げ、それぞれに「どんなときに、どんなことを、どのように行動するのか」具体策も記します。学期初めには学期の見直しを、学期終了時は振り返りを記入します。担任はコメントを記入し、ときには面談を行います。1年を通して1枚のシートに記録していくことで、自己の強みを生かし弱点をカバーしながら自己実現を図ります。この実践によって私自身、対話の大切さと同時に、記録の大切さも実感しました。



3 教師だけが味わえる「魅力」とは

人を育てる立場にある者（教師等）にとって、対象（児童生徒）の価値の内在化や自己調整の段階を考慮に入れたうえで、「自律性のサポートがかなり重要」と外山（2011）が記すように、また河村（1998）が「子ども同士の間関係を活発にすることを促して、集団による作用による学級づくりを仕組む」ことを重視したように、教師は子どもの成長のために、努力と工夫で意図的に働きかけます。その想いが本気であればあるほど、子どもたちに伝わるようです。

現在、多くの若年教員が奮闘しています。子どもの変化・成長の姿は、彼らにとって報われる思いでしょう。同時に、その姿を間近で見られる幸せも感じることでしょう。それは私たち教師だけが感じられる「魅力」です。「知らないうちに友達が増える」……数年前に、児童に言われた言葉です。新しい宝物がもう一つ増えました。

引用文献

- 河村茂雄「学級担任制をどう生かすか」『学級担任のための育てるカウンセリング全書8 育てるカウンセリングが学級を変える』図書文化、8～12頁、1998年。
- 外山美樹『行動を起こし、持続する力』新曜社、81～83頁、2011年。
- 柳瀬啓史、岡田倫代「『生き方・在り方』を自問自答する学習とその支援～自律的成長を促す『マイチェックシート』の活用～」高知大学『学校教育研究』第4号別冊、159～166頁、2022年。

☆第74次土佐清水市教育研究集会・一日教研のご案内☆

1. 期日 2024年 8月 7日 (水) 8:45 ~ 16:45

2. 会場 午前：開会行事・講演 中央公民館
午後：部会研修 各会場

3. 日程

(1) 開会行事・講演

○講演

講師：是永 かな子教授（高知大学教職大学院）

演題：『子どもの個性・特性を理解する』

(2) 部会研修

部会	会場	日程	研修内容
国語	清水中学校 〔1F 会議室〕	13:30～ 16:45	・中学校指導案検討 ・実践交流
社会科	ジョン万次郎史料館 清水小学校	13:30～ 16:45	・ジョン万次郎史料館見学 ・ジョン万学習教材研究（指導案検討） ・情報交換
算数・数学	清水中学校 〔2F2-1〕	13:30～ 16:45	・三崎小5・6年算数科指導案検討 ・ICTを使った授業づくりについて ・小中をつなぐ授業について

部会	会場	日程	研修内容
理科	竜串ビジターセンター	13:30～ 16:45	・ジオサイトを巡る（フィールドワーク、情報交換） 講師：土井 恵治さん、森口 夏季さん、富永 紘平さん （土佐清水ジオパーク推進協議会）
情報教育	清水小学校 〔1F会議室〕	13:30～ 16:45	・実践交流 ・教材研究 ・情報交換
教育相談	清水中学校 〔1F英語教室3〕	13:30～ 16:45	・ケース検討・協議、児童生徒への支援・指導方法について 講師：井上 貴美さん（特別支援教育巡回アドバイザー）
養護	清水小学校 〔1F保健室〕	13:30～ 16:45	・学校保健委員会の資料作成 ・学校保健会の発表資料作成
事務	清水小学校 〔2F〕PCルーム	13:30～ 16:45	・研修「子どもとの関わり方、メンタルヘルスについて」 講師：小松 宏暢さん（高知県スクールカウンセラー） ・業務改善要望について

夏季休業中の予定

① 第2回教研推進委員会

日時：7月23日（火）16:00～16:45

会場：教育センター 会議室

② 第2回転入教職員研修会

日時：8月22日（木）15:30～16:45

会場：松崎福祉センター

③ 第2回あすなろネットワーク

日時：8月27日（火）15:00～

会場：教育センター 会議室

内容：講話

『個別の教育支援計画・個別の指導計画・フェイスシート等引き継ぎシートについて』

講師 原 由香 校長（中村特別支援学校）

～ 教育センターは、夏季休業・閉庁期間中も開所しています ～



〔足摺岬小学校：“玄関先に咲いている夏の定番ひまわり”〕

